



令和8年1月14日
札幌開発建設部

『かわまち大賞』に砂川地区かわまちづくりが選定されました

～札幌開発建設部管内で初の受賞が決定～

国土交通省は、全国で進められている「かわまちづくり」の中から、他の模範となる先進的な取組を表彰する「かわまち大賞」を選定しています。
このたび、令和7年度の「かわまち大賞」に砂川地区かわまちづくり(砂川市)が選ばれました。札幌開発建設部管内で初の受賞が決定しました。

【概要】

- 全国303か所の「かわまちづくり」のうち、平成30年度の賞創設以降これまで15か所が選定
- 今年度は全国で2か所の受賞が決定し、その一つが砂川地区

【砂川地区の評価ポイント】

- 遊水地を活かした水辺空間の整備
- 冬季の湖面活動などによる季節格差への対応
- 若い世代の積極的な参加による継続性
- 地域固有資産のスイーツを融合したイベントなどの取組

【表彰式】

日時 令和8年1月19日(月) 16時30分～16時45分頃

場所 国土交通省 国土交通大臣室(予定)

(東京都千代田区霞ヶ関 2-1-3 中央合同庁舎 3号館)

※ 詳細は以下の本省プレスリリースをご参照ください。

<https://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo04 hh 000284.html>

【砂川市かわまちづくり取組・動画】

取組及び評価:別紙①をご覧ください。

動画:<https://youtu.be/2Pke9 nZSUU>



動画(YouTube)

【かわまち大賞及びかわまちづくり支援制度の概要】

参考①、参考②をご参照ください。

【問合せ先】

国土交通省 北海道開発局 札幌開発建設部

特定治水事業対策官 唐澤 圭 (電話番号 011-611-0329)

流域治水対策専門官 林田 寿文 (電話番号 同上)

砂川市 経済部

商工労働観光課長 阿部 範明 (電話番号 0125-54-2121 (内線 2101))



札幌開発建設部ホームページ
<https://www.hkd.mlit.go.jp/sp/>



すながわちく 砂川地区かわまちづくり

【題名】魅力的な水辺空間とすながわスイーツを融合した官民連携のまちづくり
【河川】石狩川水系・石狩川（一級河川）



水上アクティビティ



アイスカルーセル（氷のメリーゴーランド）



ウォーターヒルズスクエア



スイートマラニック



水面を利用したイベント



わかさぎ釣り

かわまちづくりの概要

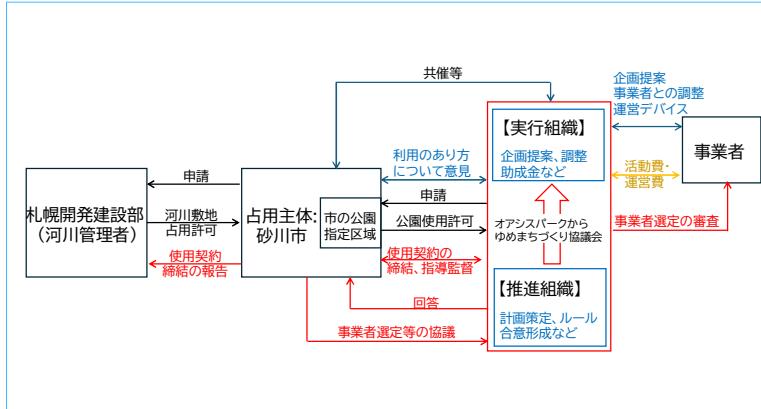
- 河川管理者による親水護岸等の整備に加え、市による多目的広場等の整備により、陸上・水面の両方の利便性が向上し、花火大会等の砂川市最大規模のイベントからカヌー・ヨット・ワカサギ釣り等まで、子どもや大人を問わず、日常的に水に親しめる環境が創出されている。
- 遊水地のかわまちづくりとして治水と親水を兼ね備えた水辺空間を形成し、様々なアクティビティとともに、地域ブランドである「すながわスイーツ」を融合した取組も盛んに行われている。
- 遊水地管理棟を含めた砂川遊水地全体を都市・地域再生等利用区域に指定することにより、民間事業者が営業活動を行いやすい環境が整備され、イベントの魅力向上と来館者増加の好循環が生まれている。

評価のポイント

- 遊水地を活かしたかわまちづくりの事例として貴重で、更に結氷した湖面での活動や冬まつりの開催等の冬季活用を進めている点は、水辺利用における季節格差への対応例として先進的であり、今後の参考になる。
- 官民連携の13団体からなる協議会「オアシスパークからゆめまちづくり協議会」が運営の中心となり、河川空間と地域固有資産のスイーツを融合したイベントやレンタサイクル、スタンプラリー等の取組の連携により、まちなかへの回遊が促進されており、その活動に若い世代が積極的に関わっている様子がうかがえ、継続的な取組となることが期待できる。

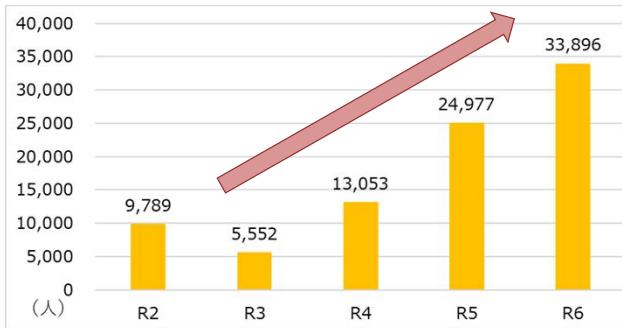
体制

- オアシスパークからゆめまちづくり協議会



管理運営体制図

効果



遊水地管理棟（ウォーターヒルズスクエア）の利用者数の推移

問合せ先：砂川市経済部商工労働観光課

TEL : 0125-54-2121 E-Mail : kanko@city.sunagawa.lg.jp

参考①

「かわまち大賞」の概要

- ◆ 河川空間を活用し、地域の賑わいを創出した、他の模範となる先進的な取組を国土交通大臣が表彰し、その取組を全国に周知します。
- ◆ 取組団体を讃えるとともに、「かわまちづくり」支援制度を浸透させ、民間事業者の参入を促進し、民間事業者のもつ「ノウハウ」等を活かした質の高い「かわまちづくり」を目指します。

かわまちづくり支援制度への登録
(R7年8月時点:303か所)

<供用済>

箇 所 A

箇 所 B

<一部供用>

箇 所 C

箇 所 D

<未供用>

箇 所 E

箇 所 F

募集対象

<募集対象>

「かわまちづくり」計画が登録されている303か所のうち、計画に基づく、全部又は一部が供用している箇所のうち、取組によって、地域のニーズに応じた利活用が図られ、地域活性化に一定の成果を上げている箇所を対象とします。

応 募

有識者で構成する
「審査委員会」

※委員は、建築・都市史、観光、地域政策、都市計画等の分野で構成
※表彰まで委員名簿は非公開

審査選定

国土交通大臣による
「表彰」

※受賞された応募主体に対し、表彰式を実施。

「かわまち大賞」のねらい

**新規登録
計画変更**

**『かわまち大賞』
表彰・周知**

地域に新たな賑わいの創出

経済活動
社会活動の生産性を向上

河川敷地の利活用拡大

民間事業者のもつノウハウを活かした計画策定

来訪者増加による地域の活性化

民間事業者の参入意欲拡大

地域の資源を活かした新たなアイデアの創出

水源地から河口まで様々な姿を見せる河川とそれに繋がるまちを活性化するため、地域の景観、歴史、文化及び観光基盤などの「資源」や地域の創意に富んだ「知恵」を活かし、市町村、民間事業者及び地元住民と河川管理者の連携の下、河川空間とまち空間が融合した良好な空間形成を目指す。(令和7年8月時点:303か所)

ソフト施策による支援

- ・都市・地域再生等利用区域の指定等による民間事業者等のオープンカフェ等への河川空間の多様な利活用の促進
- ・優良事例に関する情報提供や必要な調査等により、計画の実現を支援

都市・地域再生等利用区域の指定の適用事例



遊歩道の民間活用
(道頓堀川／大阪市)



オープンカフェの設置
(京橋川／広島市)

先進的な取組の情報提供



民間事業者の参加
(信濃川／新潟市)

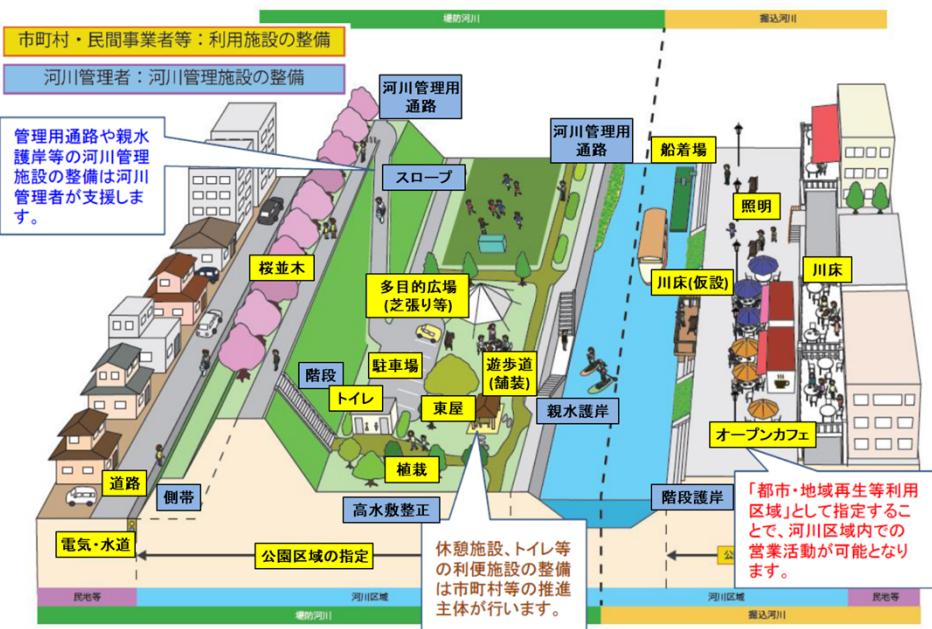


賑わい拠点の整備
(木曽川／美濃加茂市)

ハード施策による支援

- ・治水上及び河川利用上の安全・安心に係る河川管理用通路や親水護岸等の施設整備を通じ、まちづくりと一体となった水辺整備を支援。

(市町村、民間事業者が河川空間の利用施設を整備)



河川管理用通路の利用
(最上川／長井市)



親水護岸の利用
(新町川／徳島市)